



平成26・27年度

長崎県教育委員会・五島市教育委員会指定

学力向上研究のまとめ

五島市立崎山中学校

研究主題

「確かな学力の定着を図り、将来を見据えて主体的に学ぶ生徒の育成」

～義務教育9年間の学びをつなぎ、

基礎・基本の徹底と学ぶ意欲の向上を図る実践～

【主題設定の理由】

本校は、昨年度までの実践研究として「検証の視点を明確にした授業づくり」と「学習意欲を向上させる教育活動」を行ってきた。全国学力・学習状況調査の結果から、全国平均と比較すると十分とは言えず、学年や教科によっては身につけるべき基礎・基本の力が定着されていない状況にある。そこで、今年度は昨年度までの校内研究を基に、日々の「授業改善」・「学習意欲を向上させる取組」の実践を行い、「小・中の協働体制の構築」を図りながら、義務教育9年間の確かな学力の定着をめざす。以上により、本研究主題を設定した。

【研究仮説】

- 1 学力調査等からの課題把握や全職員による研究授業の実施など、日々の授業改善に向けての校内研修を充実させ、小・中学校が連携し、各卒業期のゴールの姿を明確にして各部会による具体的な取組を進めていけば、義務教育9年間で身につけるべき確かな学力を定着させることができるであろう。
- 2 将来の夢や憧れから学ぶ意欲を高めるための取組や、学力向上に向けて読解力・表現力を高める取組、家庭学習の在り方における研究を進め、家庭との協働体制の構築をすれば、主体的・計画的に学習に取り組む力や努力を継続する力が身につくであろう。



保護者も地域も、生徒も教師も「よってたかって」
崎山だからこそできる教育を創る



伝統を引き継ぐ「チャンココ」



長崎県教育センターから講師を迎えた授業づくり研修会

【平成27年度 研究構想図】

【学校教育目標】 ふるさとを愛し、心豊かで、たくましい生徒の育成
～さっさやま魂の誇りを胸に～

【めざす生徒像】 自ら気づき、実践する生徒

○自ら考え行動する生徒(自主)

○思いやり助け合う生徒(友愛)

○粘り強くあきらめない生徒(錬磨)

○労を惜しまず汗を流す生徒(勤労)

【研究主題】

「確かな学力の定着を図り、将来を見据えて主体的に学ぶ生徒の育成」
～義務教育9年間の学びをつなぎ、基礎・基本の徹底と学ぶ意欲の向上を図る実践～

【本校の課題】

全国学力・学習状況調査の結果において、全国平均と比較すると十分とは言えず、学年や教科によっては身につけるべき基礎・基本の力が定着されていない。また、学力の二極化も見られ、先を見通して主体的に学習に取り組む力が弱い。

【身につけたい力】

①基礎・基本の習得と定着

②主体的に取り組む力

【学力向上を図る取組】

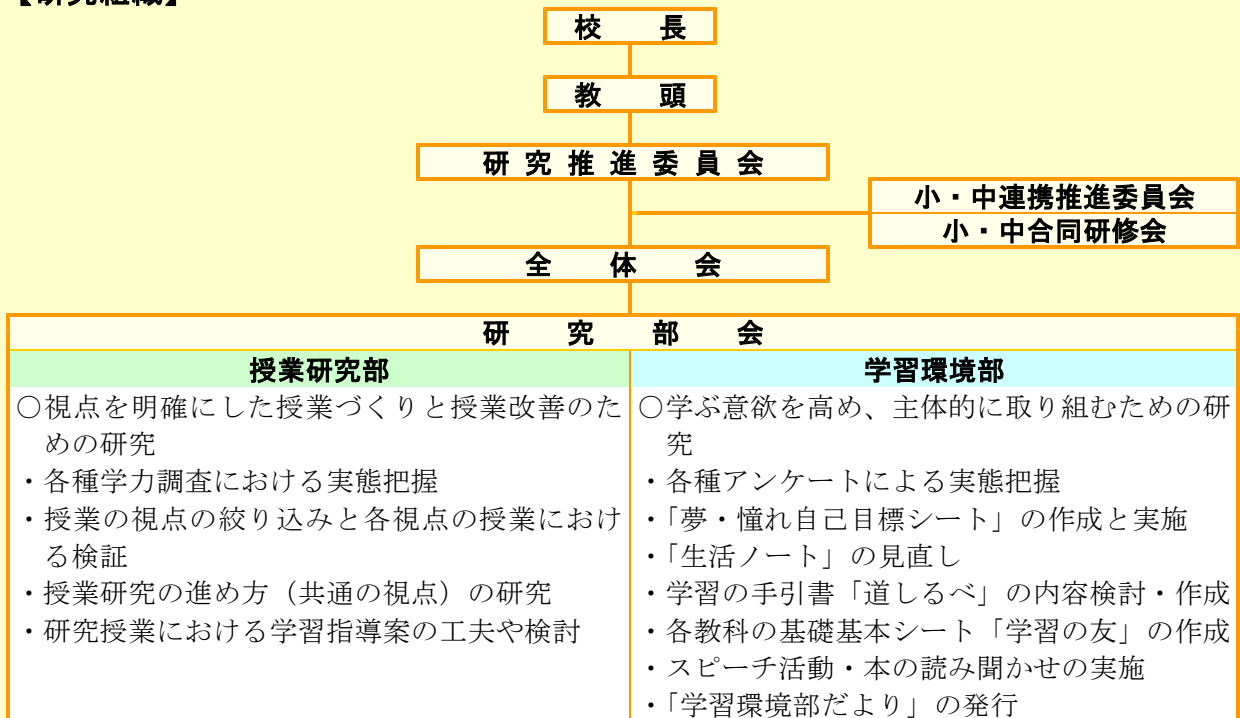
○ 義務教育9年間の学びの見直しと小・中共通の課題改善

○ 検証の視点を明確にした授業改善

○ 学習意欲の向上を図るための取組

学力向上

【研究組織】



小・中連携推進委員会
小・中合同研修会

授業研究部の取組

(1) 各教科の共通課題の設定

昨年度までは小中連携において4つの部会に分かれ、それぞれに課題を設定して実践を行ってきたが、部会や教科間のつながりが乏しいものであった。今年度は組織の改編を行い、生徒の実態について再度協議し、授業における言語活動の充実が必要であると判断した。そこで、全国学力・学習状況調査、県学力検査、CRT検査、校内定期テストから、思考力・判断力・表現力の設問を各教科で分析し、それをさらに具体化して、教科の壁を越えて共通の課題を設定した。

教科	課題の内容
国語	複数の資料から情報を適切に読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。
社会	資料を活用し、資料から読み取った情報をもとに、判断したり表現したりすることができる。
数学	情報を整理して分析し、筋道を立てて考え、理由を記述して表現することができる。
理科	複数の情報を得て要旨を捉え、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。
英語	目的や場面に応じて、自分の考えや意見を適切な語句を用いて表現することができる。
音楽	「音楽のキーワード集」を活用させて、音楽に対する自分の思いや考えをより伝えやすくするとともに、音楽の要素の言葉を用いることで根拠をもって明確に説明できる。
美術	課題に対し、自分の感じたことや考えたことを根拠を明らかにして述べ、表現することができる。
保体	課題に対し、筋道を立てて論理的に話し合い、解決することができる。
技術	複数人数での意見の練り合いの中で、自分の考えを深めることができる。
家庭	課題に対し、自分の思いや考えを根拠を明確にして記述したり、発表したりすることができる。

崎山中学校共通課題

自分の考えを、目的や場面に応じて情報や結果に基づき整理分析し、根拠を明確にして伝え合う。

【分析（読み取り）・根拠（理由付け）・表現（説明）】

(2) 検証の視点を絞り込んだ授業改善と指導案の検討

- ねらいが明確であり、身につけさせる力を絞り込んでいるか。
- ねらいを達成するために有効な言語活動が仕組まれているか。

各教科の共通課題を解決するために、授業においては上記の2つの視点を共通して取り入れ、授業改善を図った。また、研究授業の指導案検討会では、チームによる指導案の作成・検討を行い、授業後の研究会では、視点を基にした検証を行っている。

(3) 言語活動カリキュラムの作成

各教科において、単元の目標や内容等に照らし、重点的に仕組む言語活動を充実させる単元の洗い出しを行った。「何のために、どのような言語活動を仕組むのか」を考え、共通課題の解決に向けて授業の中で実践を行うために、カリキュラムを作成した。



学習環境部の取組

(1) 「夢・憧れ自己目標シート」の活用

将来の夢や目標に向かう姿を描き、学習意欲を高めさせるために、昨年度から「夢・憧れ自己目標シート」を活用している。月に1回、全校統一で「夢・憧れの日」として、振り返る時間を設定した。その中で1か月間の取組を評価し、修正を図りながら将来の夢の実現にむけて主体的に学習できるようにしている。

(2) 生活ノートの見直し

学習を計画的に進めるために学年ごとに作成していた生活ノートを、今年度から全校統一の様式として改めた。また、家庭学習を保護者とともに見守っていくために、保護者による簡単な評価とコメントの欄を設けた。生活ノートが毎日、学校と家庭を行き来することで、授業と家庭学習がつながり、生徒と保護者と学校がつながることを期待している。右に示した生徒の記録からは、生徒・保護者・担任が発する短いコメントがつながっていることが読み取れる。生徒のコメントからは見守られている安心感や、それに応えようとする気持ちがうかがえるものも多い。

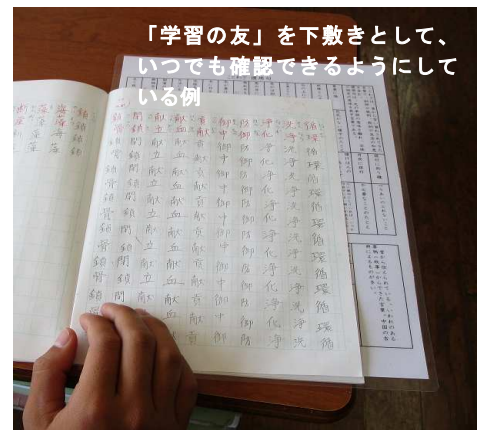
Aさんの「生活ノート」の一部を抜粋→

10月 19日 (月) 天気 ☀️ 健康状態 ☺️						
教科	連絡	課題・提出物	今日の自学予定	教科	学習内容	予定時間
1	国	教科ノートの漢字	教科ノートの漢字	①英	英語	9:00 ~ 9:40
2	音	音楽の準備		②数	数学	9:50 ~ 10:00
3	英	教科ノートの漢字		③社	社会	10:10 ~ 10:20
4	音	音楽の準備		④		
5				⑤		
6						
今日の感想・反省			保護者評価	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			① 〇 ② 〇 ③ 〇 ④ 〇 ⑤ 〇	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			今日の感想・反省			
10月 20日 (火) 天気 ☁️ 健康状態 ☺️						
教科	連絡	課題・提出物	今日の自学予定	教科	学習内容	予定時間
1	英	教科ノートの漢字		①月	英語	6:20 ~ 6:30
2	英	教科ノートの漢字		②数	数学	9:10 ~ 10:00
3	国	教科ノートの漢字		③理	理科	10:00 ~ 11:00
4	社	社会科		④社	社会	11:00 ~ 12:00
5	音	音楽の準備		⑤		
6	保					
今日の感想・反省			保護者評価	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			① 〇 ② 〇 ③ 〇 ④ 〇 ⑤ 〇	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			今日の感想・反省			
10月 21日 (水) 天気 ☁️ 健康状態 ☺️						
教科	連絡	課題・提出物	今日の自学予定	教科	学習内容	予定時間
1	理	理科		①英	英語	6:20 ~ 6:30
2	英	教科ノートの漢字		②理	理科	7:20 ~ 8:30
3	音	教科ノートの漢字		③数	数学	9:20 ~ 9:30
4	英	教科ノートの漢字		④社	社会	9:30 ~ 10:20
5	音	音楽の準備		⑤国	国語	10:20 ~ 11:30
6	保					
今日の感想・反省			保護者評価	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			① 〇 ② 〇 ③ 〇 ④ 〇 ⑤ 〇	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			今日の感想・反省			
10月 22日 (木) 天気 ☁️ 健康状態 ☺️						
教科	連絡	課題・提出物	今日の自学予定	教科	学習内容	予定時間
1	理	理科		①英	英語	6:20 ~ 6:30
2	英	教科ノートの漢字		②理	理科	7:20 ~ 8:30
3	音	教科ノートの漢字		③数	数学	9:20 ~ 9:30
4	英	教科ノートの漢字		④社	社会	9:30 ~ 10:20
5	音	音楽の準備		⑤国	国語	10:20 ~ 11:30
6	保					
今日の感想・反省			保護者評価	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			① 〇 ② 〇 ③ 〇 ④ 〇 ⑤ 〇	今日の感想・反省		
今日の感想・反省			今日の感想・反省			

(3) 「道しるべ」と「学習の友」

学習の手引書として、9教科について評価の仕方や家庭学習の取組方などを記した「道しるべ」を作成し活用している。今年度は、「夢・憧れ自己目標シート」も挿入し、1か月に1回、全校で「道しるべ」を開く機会を設け、使い方を再確認している。

また、「道しるべ」の他に既習事項の確認や重点項目を絞り込んだシート「学習の友」も作成した。



(4) スピーチ活動・小学生への本の読み聞かせ

読解力・表現力を高める取組として、短学活の時間等にニュースの発表や新聞記事の読み取り（要約）を含めたスピーチ活動を継続している。また、平成21年度より、本に親しみ、読む力をつけるために、小学生への本の読み聞かせに取り組んでいる。



【成果と課題】

(1) 成果

①義務教育9年間の学びの見直しと小中共通の課題改善を図る取組の結果、(表1・2)が示すように、各教科小学6年次に比べ、全国学力・学習状況調査や県学力調査では、全国や県の平均比を上回っている。これは、国語科では「自分の考えを明確にして書く力」「複数の情報を読み、自分の考えをもつ力」に、数学科では「四則計算の定着」「根拠をもとに知識を活用して数学的な考えを述べる」に重点をおき指導したことにより、基礎・基本が定着したためである。更に、身につけた力を活用しながら、解決するために必要な力も育まれてきたと考えられる。

(表1：現3年生 全国学力・学習状況調査小6・中3次の全国平均比との比較) (表2：現2年生 小6次の全国学力・学習状況調査と中2次県学力調査の比較)

	小6次全国平均比		中3次全国平均比	
	A問題	B問題	A問題	B問題
国語	-4.2	-6.0	+0.9	+9.1
算数・数学	-8.2	-11.0	+0.2	+0.2
理科	+1.2		+0.5	

	小6次県平均比		中2次
	A問題	B問題	県平均比
国語	-7.5	-10.9	+7.4
算数・数学	-10.0	-9.4	+12.6

②視点を意識した授業改善(各教科で共通課題を設定し、ねらいを達成するために有効な言語活動を設定)に取り組んだ結果、(表3)の記述問題の正答率が示すように、全国平均比を上回っている。これは、根拠を明確にして書く活動の定着や、解答する際、キーワードを用いたり書き出しをパターン化したりするなどの手立てによるものである。また、このことは無解答率にも影響し、中学3年次は無解答が非常に少なくなり、自分の考えを表現する意識が高まったと考える。

(表3：現3年生 全国学力・学習状況調査小6・中3次の正答率と無解答との比較)

	記述問題正答率		記述問題無解答率	
	小6次全国平均比	中3次全国平均比	小6次全国平均比	中3次全国平均比
国語	-6.4	+10.6	+25.9	-0.6
算数・数学	-11.1	+0.6	+11.5	+1.6
理科	+7.7	+1.5	+7.7	-8.2

③共通課題の解決を図るために、授業で、「分析・根拠・表現」を意識して取り組み、生徒に対して学力向上アンケートを実施した。その結果、6月と11月を比較すると、「授業中、資料などから情報を読み取ろうとするとき、いつも理由を考えている」と答えた生徒と、「授業中、自分の考えを、いつも理由をつけて話したり書いたりしている」と答えた生徒は、ともに大幅に増加している。(表4)これは、常に相手に伝わるように話したり書いたりするように意識させた結果、根拠を明確にする必要性が生徒に十分伝わったと考えられ、定着の兆しが見える。

(表4：学力向上アンケートより)

(%)

	⑤「読み取り・理由付けについて」 授業中、資料などから情報を読み取ろうとするとき、いつも理由を考えている	⑥「理由付け・説明」 授業中、自分の考えを、いつも理由をつけて話したり書いたりしている
6月	32	29
11月	69	72

④学習に対し主体的・計画的に取り組む力を養うために、今年度は保護者の協力も得て家庭学習に取り組ませたいと考えた。そのため、生活ノートを見直したり、学習環境部だよりを発行したりして、生徒や保護者の意識の啓発を図った。学習に対する意識が低い生徒に変容が見られ、家庭学習時間の確保につな

がったと考える。(表5・表6)

(表5：現3年生 「自分を知るアンケート」より) (%)

	①将来の夢や目標を持っている		⑤自分で計画を立てて勉強している	
	当てはまる どちらかと言えば当て はまる	当てはまらない どちらかと言えば当 てはまらない	当てはまる どちらかと言えば当て はまる	当てはまらない どちらかと言えば当 てはまらない
2年次	89	11	67	33
3年次	95	5	80	20
	⑩1日の家庭学習(月～金)		⑫1日の家庭学習(土・日)	
	2時間以上	1時間より少ない	3時間以上	1時間より少ない
2年次	50	28	10	17
3年次	70	0	40	0

(表6：現2年生 「自分を知るアンケート」より) (%)

	①将来の夢や目標を持っている		⑤自分で計画を立てて勉強している	
	当てはまる どちらかと言えば当て はまる	当てはまらない どちらかと言えば当 てはまらない	当てはまる どちらかと言えば当て はまる	当てはまらない どちらかと言えば当 てはまらない
1年次	100	0	45	55
2年次	90	10	80	20
	⑩1日の家庭学習(月～金)		⑫1日の家庭学習(土・日)	
	2時間以上	1時間より少ない	3時間以上	1時間より少ない
1年次	45	9	18	9
2年次	50	0	40	0

(2) 課題

- ①これまでの各取組により、授業における既習事項の内容が基礎・基本として身につけてきたが、より一層の定着を図ることで、積み重ねた力を確かな学力へと高めることが求められる。
- ②本年度は、教科のみで共通課題を設定し授業を検証して振り返っているが、教育活動全体において解決を図る必要がある。
- ③家庭学習の習慣が、ある程度は身につけ計画的に取り組むことができるようになった。今後は、この学習習慣を主体的なものへとつなげていくことが課題である。
- ④小中連携推進委員会や小中合同研修会の活性化を図り、小中共通の課題を明確にし、改善のための具体的な取組を充実させる。



